

作成日：令和3年5月15日

令和3年度5月に開催されました高松市自立支援協議会 就労支援部会（①イベント委員会・②A型検討委員会・③広報調査委員会）のご報告をいたします。

①第2回 イベント委員会について

日付	令和3年5月10日（月）
時間	13:30～14:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 第1研修室
参加機関等	高松市障がい福祉課、ハローワーク高松、香川障害者職業センター、香川県立高等技術学校、障害者就業・生活支援センターオリーブ、障害者就業・生活支援センター共生、Doやまびこ、障害者地域生活支援センターほっと、障害者生活支援センターあい、香川県立川部みどり園、くすがみ、竜雲あけぼの学園、かがわ総合リハビリテーションセンター 順不同 計13名

議題1：第10回しごとサロンについて

議事	<p>○開催日時</p> <ul style="list-style-type: none">・8月25日（水） 時間：①13:30～14:30 ②14:45～15:45・開場は13:20、運営集合12:30（昼食は会場以外で各自でとってもらう）・場所：リハビリセンター2F 第1・第2研修室、AV会議室・*第2研修室は13時から使用可・参加機関のブースの数によって、AV会議室を使用し、会場を分ける <p>○チラシの修正について</p> <ul style="list-style-type: none">・2部制（1時間ハーフ）で20名定員（10名ずつで分ける）・予約方法：前回同様、問い合わせ・申し込み先は竜雲あけぼの学園が担当する。・※アプリ（ピーティックス）を併用・締め切り：8/9（月）→盆期間～18日までに連絡、参加票発送・部数、配布方法：ハローワーク9月合同面接会が開催であれば、同封させていただきます。1500部、上記以外の場合、1000部用意する。・学校、病院関係など広報調査委員会に協力依頼する。7/2の部会開催時に配布予定。・記載事項：来場可能な時間の表記をやめ、障害種別に応じて、1部か2部かをこちらで分ける。確認の連絡が盆期間を挟むため、連絡可能な日（平日のみ・休日のみ・平日、休日どちらでも）、時間帯の表記にする。 <p>○今後の動き</p> <ul style="list-style-type: none">・役割分担、会場見取り図の作成（7/2委員会時に確認）・チラシの作成、配布：6月中旬入稿→6月下旬～末頃配送→7/2配布スタート・受付票の作成（7/2委員会時に確認）・難病支援のブース参加の確認
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物の確認、受付・相談用の透明パネル貸出依頼など ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・支援機関、事業所のマップを作成してはどうか ・相談先たどりつきチャートを作成してはどうか（受付で配布し、相談先のゾーン分けができる、迅速に相談できるなど） ・受付業務、コロナ対策、検温実施場所の確認など
--	--

議題 2：雇用フォーラムについて	
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ○日時 2/14 か 2/21 → 5月、6月中に株式会社ヤマウチに打診 講師にお聞きして決める ○時間配分 これまで 1部 1時間 13:30～14:30 休憩 10分 2部 50分 14:40～15:30 →これまでどおりで ※開始時間は、13:30 か 14:00 かどうか →13:30～で ○2部の内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 県障害者プラン、市障がい者プラン、雇用率制度等、障害者雇用の施策、制度説明 5分 ② 合理的配慮 45分 <ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮という用語を出すと話づらい →雇用事例の方が話やすいのではないか ・企業目線の話か、障害者目線の話か → 企業目線の話 ・企業は施策や制度より、実際のところが聞きたいのではないか アンケートからも「事例」というキーワードが目立った こう（配慮を）求められて、こう対応した（配慮）とか、どこまでやったら（配慮したら）よいのか等 →どの事業所、機関にどのように発表してもらうか ↓ 具体的なところは今後詰めていく ○今後について <ul style="list-style-type: none"> ・次回（7/2）講師、日時決定 ・2部の内容を詰める ・チラシ配布 12月中旬ごろ（合同面接会チラシと同時配布ができればよい） ○当日の運営について <ul style="list-style-type: none"> ・予約とりまとめ Zoom 運営（購入は協議会） ・YouTube とかも最近多い。必要などころだけみれるのは企業にとってもメリット

	<p>があると感じる。→実施方法をどうするか。</p> <p>どこに落としどころをもっていくかで変わってくる</p>
--	--

②第1回 A型検討委員会について

日付	令和3年5月10日(月)
時間	15:00~16:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 2階研修室
参加機関等	<p>くすがみ、Do やまびこ、朝日平成園、ほまれの家高松店、サスケ設計工房高松、ゆうちゃん弁当ゆうちゃん亭、サンライン、サン、ぼだいじゅ、障害者生活支援センター あい</p> <p style="text-align: right;">順不同 計 11 機関 13 名</p>

議題1：新年度の自己紹介	
議事	<p>委員長の紹介・承認</p> <p>委員の自己紹介</p>
決定事項	<p>委員長及び、その他の役割について、参加者より承認</p> <p>参加者の自己紹介</p>

議題2：全体会の周知	
議事	<p>イベント委員会の報告</p> <p>広報・調査委員会の報告</p>
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事サロン8月25日(水)を予定。 ・雇用フォーラム令和4年2月14日もしくは21日を予定。 (株式会社 ヤマウチ様の講演を予定している) ・A型・就労移行の事業所紹介は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とする。

議題3：新型コロナウイルス対策と課題	
議事	各事業所の新型コロナ対策と課題の共有
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染の状況が変わらず、レオマワールドのお客様、ホテルの稼働率は低く、1年間同じ状況が続いている状態、雇用調整助成金を活用中。 ・お弁当は極端に売上を下げているが、食堂は半分程度の売上となっている。 ・雇用調整助成金の活用が出来、助かっている。 ・お弁当事業があり、助かっている。イベント中止等での影響もあった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷業務にも影響あり、売上は下がっている。ただ、利用者様の利用率は上がっていて、もどかしい状況が続いている。 ・感染拡大予防として、光触媒施工、アルコール消毒、手洗いの徹底を実施している。
--	--

議題4：報酬改定について	
議 事	報酬改定について認識と情報の共有
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・A型事業所の報酬は今回大きな変更となっている（スコア形式となるなど）。 ・支援力向上や地域連携の部分は、A型検討委員会として皆で協力できる部分もあるのではないかと考えていて、メリットが出せるよう委員会の内容も検討して実施していきたい。事業所見学などは、スコアにカウントできるよう積極的に活用していきたい。

③第2回 広報調査委員会について

日 付	令和3年5月10日（月）
時 間	13:30～14:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 第2研修室
参加機関等	働く場推進開拓事業、障害者就業・生活支援センターオリーブ、障害者相談支援センターりゅううん、香川県立香川東部養護学校、サスケ・アカデミー、かがわ総合リハビリテーションセンター、就労移行支援ヒトトコ 順不同 8名

議題1：高校・大学プロジェクトの周知活動について	
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ・周知先及び担当を決める。 ・補足：R3.4月～クラーク記念国際高等学校→穴吹学園高等学校に変更 高松圏域内の私立高校等から福祉へのつながりは一定数ある。 高松圏域外の公立高校は定時制・通信制のみ実施する。定時制には「高等学校就職支援教員（ジョブ・サポート・ティーチャー）が配置されている場合がある。
決定事項	通信制高校・私立高校・大学・専門学校の担当を広報調査委員会のメンバーで分担した。
今後の動き	<p>進捗状況について・確認方向について</p> <p>高松圏域の学校へのガイドブックは配布が終わっている。</p> <p>巡回した情報を Google ドライブで共有するのはどうかという意見があった。今後検討していく。</p>

議題2：小豆圏域 情報共有	
議 事	【課題】

	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援は、就労アセスメントだけではなく、サービスとして必要な支援である。 ・生活介護などの生活面をサポートするサービスも必要である。 ・就労移行支援と B 型との連携も必要となってくる。 ・小豆島でも企業や A 型の事業所があれば就労支援の幅が広がっていくのではないかと。
決定事項	特になし
今後の動き	継続して、情報共有をし、課題について検討していく。